

添付文書【復命書】

用件	第25回丸森町復興推進本部会議		
期間	自令和 5 年 8 月 7 日 09:20	場 所	丸森町役場 2階 庁議室
	～ 0 泊 1 日		
	至令和 5 年 8 月 7 日 10:00		
内 容			
<p>このことについて、下記のとおり復命します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>出席者 別添出席者名簿のとおり</p> <p>1. 開 会（司会：復興推進班長）</p> <p>2. 開会あいさつ（保科町長）          多くの皆様のご協力を頂きながら、日々復旧・復興が進んでいる。          この進捗状況を議題として、皆様からご意見を頂きながら会議を進めていきたい。</p> <p>3. 議 題（議事進行：本部長（保科町長））          復旧・復興の進捗状況について《説明：復興対策室長補佐》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1, 2について説明</li> <li>・町のハード事業について、農業施設の完了箇所が5箇所増え、完了率43.6%となった。</li> <li>・国のハード事業は今回完了箇所、完了率等に変更なし。</li> <li>・県のハード事業について、阿武隈川左右岸の大張川張地区の樋屋沢1が完了し、完了件数12件、完了率80%となった。また、雉尾川の河川改修・機能強化については排水樋門工事の完了箇所が1箇所増え、完了箇所2箇所、完了率25%となっている。</li> <li>・町営住宅・災害公営住宅は6月までにすべて完成。7月14日より鍵の引き渡しが行われ、現在仮設住宅からの引越し作業が行われている。</li> <li>・国道349号別線ルートについて、施工延長6.0kmのうち着工延長が3.2kmとなり、着工率は53.3%となった。</li> <li>・プレハブ仮設には6月末現在で29世帯46名、みなし仮設には11世帯19名が入居している。</li> </ul> <p>【質疑等】（○：質疑 ●：応答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建設課長           <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅の供与期間が10月11日までであるが、それ以降も残る世帯はあるのか。</li> </ul> </li> <li>●復興対策室長補佐           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの公共工事の影響で残る世帯が2世帯あるが、この2世帯については国から許諾を得て1年間の延長が認められている。</li> </ul> </li> <li>○総務課長           <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうするとどこの仮設団地が残るのか。</li> </ul> </li> <li>●復興対策室長補佐           <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺内仮設団地が最後まで残る。2世帯のうちの1世帯はすでに花田仮設団地からみなし仮設移っているので、寺内に残るのは1世帯だけである。そのほかの仮設団地については順次解体を進めるよう調整中である。</li> </ul> </li> <li>○総務課長           <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺内仮設団地はその1世帯を残し解体が始まるのか。</li> </ul> </li> <li>●復興対策室長補佐           <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺内を除く仮設団地については10月11日以降、解体に向けて順次動いていくが、寺内については年明けの1月くらいから解体に向けて動くよう県と情報共有しながら進めている。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">裏面に続く</p>			

○農林課長

- ・農地災の農家への負担金請求、早ければ7月くらいからと聞いていたが、実際の状況はどうか。

●建設課長

- ・現在精査を進めているが、委託金分でまだ決まっていない部分があり調整中。

○農林課長

- ・目安としてはいつ頃になるのか。

●建設課長

- ・9月にはお知らせしたいと思っている。

○総務課長

- ・以前も言ったかもしれないが、資料1のP7、内水氾濫対策の事業完了後の床下浸水戸数が非住家1だけであれば表記しなくてもいいのではないかと。

●建設課長

- ・そうしたい思いもあるが、この資料は公表しているものであり、この内容で補助申請をしているため変えることが出来ない。ご理解頂きたい。

○町長

- ・直接放流管のシールドマシン、出来上がったなら直ぐに工事に入れる段取りになっているのか。

●建設課長

- ・シールドマシンは部品の供給の関係で遅れているが年度内には掘り始めたいと考えている。砂防関係の協議に時間がかかっているが、間に合うよう進める。

4. その他

○総務課長

- ・復興推進委員会はいつ開催予定か。

●復興対策室長補佐

- ・10月の追悼式以降を予定しているが、その前の9月末頃に推進委員の方向けに復旧・復興の現場視察を予定している。現在調整中。

○農林課長

- ・秋田県五城目町の支援について、今どのような状況なのか教えてほしい。

●復興対策室長補佐

- ・先日、五城目町とWeb会議を実施したのち、復興対策室が窓口となり、照会があればそれぞれの担当部門へとつないでいる。その後は五城目町と各担当部門とで直接やり取りをしている。

※その他、八巻復興対策室長補佐が内閣府の「避難生活の環境変化に対応した支援の実施に関する検討会」に検討委員として参加したことを報告。

5. 閉会

以上、その他詳細は別添資料を参照